

議会だより



令和元年 8月
第114号

みなみおぐに



市原保育園児のかわいい作品 “にじ”

・・・表紙の絵を募集しています（詳細は11ページをご覧ください）

目次

5月臨時議会・6月定例会・7月臨時議会 新議会構成決定・予算審議 等	2～6
一般質問 町政を問う	7～11
議会日誌・編集後記	12

議 会 構 成 決 定

議長に平野昭夫氏、 副議長には穴井則之氏

4月の統一地方選挙後、初議会となる令和元年第3回臨時議会が5月8日、新たに当選の4人を含む10人の議員全員が出席して開かれた。正副議長選出後、常任委員会等の議会構成を決定し、その後各種委員等が選任された。

経済建設常任委員会

委員長 矢津田道夫
副委員長 穴井 千秋
委員 穴井 則之
委員 井野 和哉
委員 井上 則臣
(委員は議席順)

主な所管事項

○農林課・建設課の事務に関する事項
○町有林・部分林・学校林に関する事項

総務文教常任委員会

委員長 児玉秀次郎
副委員長 下城孔志郎
委員 佐藤 毅
委員 森永 一美
委員 平野 昭夫
(委員は議席順)

主な所管事項

○総務課・まちづくり課・町民課・福祉課・税務課・教育委員会・会計管理者の事務に関する事項
○訴訟に関する事項

議会運営委員会

委員長 井上 則臣
副委員長 児玉秀次郎
委員 矢津田道夫
委員 下城孔志郎
委員 穴井 千秋
(委員は議席順)

主な所管事項

○議会の運営に関する事項
○議会の会議規則・委員会条例の制定改正に関する事項
○議長の諮問に関する事項

広報調査対策特別委員会

委員長 森永 一美
副委員長 井上 則臣
委員 佐藤 毅
委員 井野 和哉
(委員は議席順)

「議会だより」の編集・発行

環境問題調査特別委員会

委員長 矢津田道夫
副委員長 児玉秀次郎
委員 下城孔志郎
委員 穴井 千秋
委員 森永 一美
(委員は議席順)

環境問題等が発生したときに迅速な対応対策を協議する。

南小国町議会議員

よろしくお願いします！

(議員は議席順)



副議長 穴井 則之

町民皆さんの声を議会に届けて
いきます！



議 員 佐藤 毅

声を力に！
皆様と共に全力疾走！



議 員 井野 和哉

住みやすい町づくりに邁進しま
す！



議 員 井上 則臣

頑張ります。よろしくお願いします。



議 員 矢津田道夫

住みやすい町づくりを目指して
頑張ります！



議 員 下城孔志郎

よろしくお願いいたします。



議 員 児玉秀次郎

皆んなが笑顔で取り組む地域活
性化



議 員 穴井 千秋

1 期目の経験を生かし、福祉向
上に努めます。



議 員 森永 一美

小さな声を届けます。
南小国が大好きです！



議 長 平野 昭夫

町民目線のわかりやすい町民の
ための議会運営



議員集合写真

◎ 各 種 委 員 等

◇ 監査委員 (議会選出)

井野 和哉

◇ 小国町外一ヶ町

公立病院組合議員

穴井 則之

佐藤 毅

◇ 阿蘇広域行政

事務組合議員

井上 則臣

下城孔志郎

令和元年度 総予算 55 億 9,016 万円 (前年比 1.3%の増)

特別(7)会計
16 億 9,300 万円
 (対前年比 1.4%の増)

一般会計
38 億 9,600 万円
 (対前年比 1.3%の増)

令和元年6月
 第2回定例会

会 計 名		平成 30 年度 (当初予算)	令和元年度 (6 月補正後)	前年比
一般会計		38 億 4,991 万円	38 億 9,661 万円	1.2%
特 別 会 計	国民健康保険	6 億 91 万円	6 億 829 万円	1.2%
	後期高齢者医療	5,877 万円	5,968 万円	1.5%
	介護保険	5 億 9,393 万円	6 億 1,469 万円	3.5%
	水道事業	1 億 8,749 万円	2 億 494 万円	9.3%
	農業集落排水事業	3,519 万円	3,144 万円	△ 10.7%
	特定地域生活排水処理事業	2,627 万円	2,615 万円	△ 0.5%
	公共下水道事業	1 億 6,837 万円	1 億 4,836 万円	△ 11.9%
合 計		55 億 2,084 万円	55 億 9,016 万円	1.3%

令和元年度 一般会計内訳

項 目		金 額	構成比 (%)
歳 入	地方交付税	1 6 億 4, 0 0 0 万円	42.1%
	町 税	4 億 3 1 1 万円	10.3%
	県支出金	2 億 9, 0 9 1 万円	7.5%
	繰入金	4 億 9 5 万円	10.3%
	国庫支出金	2 億 9, 2 2 7 万円	7.5%
	町 債	2 億 2, 4 6 2 万円	5.8%
	分担金及び負担金	1 億 2, 8 9 4 万円	3.3%
	使用料及び手数料	6, 5 9 4 万円	1.7%
	その他	4 億 4, 9 8 7 万円	11.5%
合 計		3 8 億 9, 6 6 1 万円	100.0%
歳 出	総務費	9 億 2, 9 5 5 万円	23.9%
	民生費	6 億 8, 2 8 3 万円	17.5%
	衛生費	5 億 9, 1 2 6 万円	15.2%
	土木費	3 億 6, 0 6 0 万円	9.3%
	農林水産業費	4 億 5, 1 1 3 万円	11.6%
	公債費	2 億 8, 5 0 3 万円	7.3%
	教育費	2 億 3, 4 8 2 万円	6.0%
	消防費	1 億 2, 6 2 8 万円	3.2%
	その他	2 億 3, 5 1 1 万円	6.0%
合 計		3 8 億 9, 6 6 1 万円	100.0%

令和元年第2回定例会が6月12日から14日までの3日間開かれた。予算審議では、当初予算が骨格予算だったことで、今回その肉付けとなる事業予算を盛り込んだ一般会計と、3特別会計を審議した。一般会計には2億1154万3千円が追加され、当初予算と合わせた総予算は38億9661万4千円と、昨年と比べ1・2%の増となっている。

●補正予算

一般会計補正予算
(第2号)

主な内容

町制施行50周年記念冊子作成委託料 140万円
起業型地域おこし協力隊支援業務委託料 400万円
プレミアム付商品券事業業務委託料 778万円
物産館きよらカフェサレジ入替補助金 481万円
木質バイオマスボイラー設計・監理業務委託 869万円
木質バイオマスボイラー工事 4444万円
林業機械等導入事業補助金 325万円
黒川温泉ナイトマラソン補

助金

700万円

原案可決

水道事業特別会計補正予算(第1号)

主な内容

水道総務費の委託料等2550万円増額
水道基本計画・水道ビジョン策定業務委託

1600万円

水道施設耐震診断業務委託

950万円

原案可決

農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)

共済組合負担金の率の改定に伴い共済費7千円の増額

原案可決

公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)

共済組合負担金の率の改定に伴い下水道総務費共済費8千円の増額

原案可決

●固定資産評価員の選任

中湯田 堀川 一介 氏

●選挙管理委員会委員等の選任

○選挙管理委員

荒倉上 河津 博文 氏

市原 佐藤 勝也 氏

扇上 佐藤 千春 氏

坂の下 毛利 一博 氏

○選挙管理委員補充員

和田上 上島 敬次 氏

平 嶋崎 俊秀 氏

志津下 工藤 直也 氏

吉原 佐藤 郁雄 氏

(補充員は選挙管理委員に欠員が生じたとき、順位により補充されるものです。)

●報告

▼繰越明許費の繰越計算書の報告について

一般会計5億1598万円(13件)・水道事業特別会計8105万円(5件)・公共下水道事業特別会計2446万円(1件)を明許繰越

承認

▼事故繰越の繰越計算書の報告について

一般会計1億3973万円(3件)を事故繰越

承認

●規約の変更

▼熊本県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及び規約の一部変更について

原案可決

●議員発議

▼南小国町議会傍聴規則の一部を改正する規則について

原案可決

●陳情

▼辺野古新基地建設の即時中止と、普天間基地の沖縄

県外・国外移転について、国民的議論により、民主主義及び憲法に基づき公正に解決するべきとする意見書の採択を求める陳情

配布

▼米軍普天間飛行場の辺野古移設を促進する意見書に関する陳情

配布

▼最低賃金の大幅引き上げと全国一律制度及び、開かれた最低賃金審議会の在り方を求める陳情

配布

▼日本政府に対して、国連の「沖縄県民は先住民族」勧告の撤回を求める意見書の採択を求める陳情書

配布

▼新たな過疎対策法の制定に関する意見書の提出について

採択

令和元年 第3回臨時会

令和元年5月8日に開催された第3回臨時会では、議会構成決定後、町長専決処分承認議案等、11の議案が提出され、可決された。

●専決処分の報告

▼南小国町税条例・国民健康保険税条例の一部を改正する条例

承認

平成30年度 一般会計補正予算(第12号)

農業集落排水事業特別会計補正予算(第5号)

水道事業特別会計補正予算(第9号)

承認

●補正予算

令和元年度 一般会計補正予算(第1号)

参議院議員選挙費他
602万円の増額

●条例

▼南小国町介護保険条例の一部を改正する条例

原案可決

令和元年 第4回臨時会

第4回臨時会が令和元年7月16日に開催され、一般会計補正予算、他3議案が提出・可決された。

●補正予算

一般会計予算(第3号)

介護保険特別会計予算(第1号)

原案可決

●工事請負契約の締結

▼南小国町立小中学校空調設備設置工事

西部電気工業株式会社
6270万円

原案可決

平成30年度 繰越明許費（主なものを掲載）

一般会計

事業名	金額	翌年度繰越額	進捗率
単県治山（市町村営）単独補助治山事業	1,025万円	665万円	100%
町道中湯田赤迫線道路改良工事	8,500万円	5,808万円	40%
町道手形野線（陣内橋）橋梁補修工事	3,100万円	3,100万円	20%
町内小学校空調設備設置工事	6,653万円	6,653万円	5%
南小国中学校空調設備設置工事	1,216万円	1,216万円	5%
平成29年発生農地等災害復旧事業	5,933万円	5,933万円	10%
平成29年発生公共土木施設災害復旧事業	2億4,000万円	2億4,000万円	10%

水道事業特別会計

事業名	金額	翌年度繰越額	進捗率
簡易水道配水管布設取替工事	5,660万円	3,747万円	20%
仮設導水配管工事	1,558万円	1,558万円	90%

公共下水道事業特別会計

事業名	金額	翌年度繰越額	進捗率
公共下水道事業	6,278万円	2,446万円	60%

議員一般質問 町政を問う !!

1	佐藤 毅	「教育環境について」 「町中心部にぎわい復活の為に」	7
2	森永 一美	「イベントや催しなどの情報発信は？」 「町としての住環境の整備状況は？」	8
3	下城孔志郎	「農業公社の設立について」 「JA 南小国支所について」	8
4	井野 和哉	「農林業の後継者育成対策は」 「町水道の今後の対応は」	9
5	児玉秀次郎	「3校ある小学校を近い将来統廃合する考えはあるのか？」 「保育無償化の対応は？」	9
6	穴井 千秋	「新人職員の育成方と研修について」 「森林経営管理制度の取り組みについて」	10
7	穴井 則之	「町の農林業の今後の取り組みは」	10
8	井上 則臣	「史跡・文化財の保護と活用を」	11

教育環境について 町中心部にぎわい復活の為に

佐藤 毅 議員



【議員】 質の高い教育環境は子どものためであり、町づくりのためでもある。そこで①登下校時の安全対策は。②英語、プログラミング教育に向けては。③ICT教育の取り組みは。④きよら塾の現状と今後は。⑤小国高校改革で人材育成を。

【町長】 ①通学路安全推進協議会で交通安全、防犯の両面について対策を検討していく。②中学校のALTが小学校にも指導に回っている。プログラミング体験教室を開催した。プログラミングを利用してドローンを動かす取り組みも実施。スキルアップを進める。③必要なICT環境の整備はできている。ICT機器の活用に対し、スキルアップを行い、活用を進める。④英会話や、新聞を利用した見出し付け、日本地図を利用した学習等を行い、成果も上がっている。中学生への対応も必要。できることから取り組んでいく。⑤小国高校が夢や目標を持って頑張れる魅力ある学校であることが重要。課題を少しでも解決できるよう、小国高校の存続に向けて関係団体と協力し支援していく。

【教育長】 ICTは今後十分必要な能力。支援員を整備して、ICTを使って自分の考えを表現して発信できる能力を培っていきたい。

【議員】 町全体の活性化のため、市原地区のにぎわい復活は絶対条件だ。にぎわいを創出するための施策は。住民の声を取り入れた協議とアクセス道路整備、志賀瀬川沿いに遊歩道整備を。

【町長】 中心部がにぎわいを取り戻すことは町の元氣につながる。JA跡地は、町民が利用しやすく、足を運びたい場所にする必要がある。町民を交えた協議会を設置し、検討していく。鬼山交差点から温泉館までの道路整備は起爆剤になりうる。遊歩道整備は住民、観光両方にメリットがある。検討していく。

イベントや催しなどの情報発信は？ 町としての住環境の整備状況は？



森永 一美 議員

【議員】 町内では様々なイベントや催し物があるが、事前告知が十分でなくもったいない。事前告知はどのようにしているのか？

【町長】 現在はみなみチャンネル、広報誌、メール配信サービス、ホームページの4つのツールがあるが情報量は十分でない。今後きょうニュース内で主催者出演方式の告知コーナーも検討している。

【議員】 時代に合わせてフェイスブックやラインなどSNSの活用も追加してはどうか。過去、現在、未来という時間軸の中で誰がどのように情報発信するのか決めていただきたい。

【議員】 現在、公営住宅になかなか入れない、空き家バンクも修繕が必要だったり高価だったりすぐ入居できる物件が少ない中、これから町外の方との交流や受け入れも本格化してくると思うが住環境整備はどうなっているか。

【町長】 公営住宅は全173戸。入居戸数162、空き11（内、修繕等の為の政策的空き8）。民間住宅が少ないので賃貸住宅を建設する際に補助を行っている。空き家バンクも全て売買のみなので、賃貸物件の掘り起こしを行いながら登録を進めたい。

【建設課長】 公営住宅は不定期に空きが発生するので、たまたま空きが出た時はすぐ入居できることもある。今後は公平公正な空き情報をどのように出していか検討する。

【議員】 公営住宅の空き状況はホームページ等で公開して欲しい。空き家バンクは希望売却価格ではなく適正価格の設定と、すぐに住める物件の登録をしてもらえる仕組み作りをして欲しい。

農業公社の設立について JA南小国支所について



下城 孔志郎 議員

【議員】 農業公社の設立については、一年前に井上議員から同じ質問があって、前向きに検討すると回答があったが、この一年間、どのような検討がなされたか伺いたい。

【町長】 我町でも、以前公社に準ずるグリーン南小国を設立したが、経営の悪化から解散した経緯がある。その後の現状を見れば、ご指摘の農業公社は一つの手段でもある。

【議員】 今の答弁は一年前とまったく変わっていない。この一年何をしていったのか？今日から三か月以内に、絶対何らかの形を創って頂きたい。

【町長】 若手農業家とこれまで任意で検討はしてきた。今後は農業・林業・畜産業と協議をする。三カ月以内に、起こす事を約束する。

【議員】 JA南小国支所について、これまでの経緯と、今後どの様にするのかを、詳しく伺いたい。

【町長】 平成30年6月に、Aマートの閉鎖の挨拶と、農協跡地の売却と利用の件など、農業組合代表からJA南小国支所に付いての説明があった。

今後としては、町民が集い、利用し、教育や文化の拠点と成る様な可能性を含んでいる場所なので、町民の意見等を聞き、ランドデザインを描きたい。



閑散としたJA南小国支所
～今、Aマートは閉鎖されている～

農林業の後継者育成対策は 町水道の今後の対応は



井野 和哉 議員

【議員】 農業従事者の高齢化、後継者不足は大きな問題であり、町としてはどのような対策を考えているのか。

【町長】 課題の対策として、農業従事者の負担軽減や、後継者支援の補助事業を行い、若手農家との意見交換での課題を踏まえながら、後継者支援の事業を行う。

【議員】 補助金のあり方を含め、悩みや不安を考慮しながら、総体的なサポートが必要なのでは。

【農林課長】 補助金の見直し、新たな創設は重要だと考える。若い後継者と積極的に話し合い、十分なサポートをしていきたい。

【議員】 現在、7か所ある町内の簡易水道事業を今後どのように維持管理していくのか。

【町長】 現在水源地の枯渇や漏水など、いろんな課題がある中、情報を一元管理するシステムを構築し、業務の効率化と中長期的ビジョンを策定していく。

【建設課長】 町水道

の維持管理、運営については厳しい現状であるが、水道管理システム業務委託完了後、検討していきたい。



水不足が心配される波居原地区簡易水道施設

3校ある小学校を近い将来統廃合する考えはあるのか 保育無償化の対応は



児玉 秀次郎 議員

【議員】 現在3校合わせても全校生徒数は約180人。今後少子化が進んでいくと思うが、3校を統廃合する考えはあるのか。

【教育長】 統廃合すべきでないと考えている。小規模校ならではの個々に応じた丁寧な指導がなされており、生徒は体力面でも学力面でも高い評価を得ている。温かい地域性を大事に、子供達の成長を地域の方に見守っていただき、地域と共にある学校づくりをしていきたい。

【議員】 10月からの幼稚園保育園無償化の概要と町の負担費、また現在子育てを行う上でどのような助成があるのか。

【町長】 10月1日より保育所・幼稚園・認定こども園等で、対象年齢が3歳以上は全員、0歳から2歳は住民税非課税世帯が無償化になる（通園送迎費、給食費、行事費等は無償対象外）。負担割合は国2分の1、県4分の1、町4分の1。初年度の10月から3月までの6カ月間は全額国負担。助成は、保育園同時入園の場合の保育料が2人目半額・3人目無料、子育て支援センターの開設、3歳未満児世帯に対するのプレミアム付商品券事業、0歳から高校生等までの医療費全額助成がある。

【福祉課長】 実際の対象は3歳以上81名、0歳2歳の非課税世帯3名の計84名。町の負担増は約200万円程度。

【議員】 助成が充実しているがホームページの助成一覧が見づらい。一覧を工夫して欲しい。

新人職員の育成方と研修について 森林経営管理制度の取り組みについて

穴井 千秋 議員



【議員】 新人職員を雇用する上での実態的な事と、研修・育成方法について伺いたい。

【町長】 例年退職者数と同程度の採用を行っており、研修については各課長の指示により、35種の研修に、延べ100名程度の参加を予定している。

【議員】 できれば6名全員が本町に根付いてもらって、一日も早く町民の負託に応えられるよう、新人育成に対する意気込みを伺いたい。

【総務課長】 仕事の基本であったり、礼儀、挨拶の大切さを指導しながら、個性や能力が引き出せるよう、環境を整えていきたい。

【議員】 森林経営管理制度の町としての取り組み方と、進捗状況について伺いたい。

【町長】 所有者への意向調査と大字赤馬場地区を対象に説明会を開催予定である。

【議員】 事業者・林業者が少ない中、整備自体進んでいくのか。また、採算に合わない分は、誰がどう判断していくのか。

【農林課長】 人材不足の分は、森林組合に委託しサポートしていく。採算に合わない分の判断は、意向調査を踏まえながら対応していきたい。



ハーベスタによる林内作業の風景

町の農林業の今後の取り組みは

穴井 則之 議員



【議員】 農林業の果たしてきた役割は大きい。高齢化、担い手不足、鳥獣被害等の課題を抱える中、耕作放棄地の増大や荒廃した山林などが多く見られる。新たな対策を考えて行く必要がある。

【町長】 様々な補助制度は続けていく。農業委員会等と連携して、人・農地プランによる具体的かつ地域に密着した問題や課題を解決していく。森林経営管理法に基づく、適正な維持管理を行うための計画を整備していく。若手農家、意欲ある農家や林家と意見懇談会で協議していく。

【議員】 ①減反政策で復活できない水田地目に対する働きかけは。②小規模圃場整備事業補助金の推進、増額を。③有害鳥獣対策用に地区ごとのフェンス設置を。

【農林課長】 ①適正に管理していく。農地パトロールを行っている。耕作放棄地を分類し地目変更を促す。②他の圃場整備事業もある。農家の現状を考慮理解した上で、町で整理していく。③フェンス設置には導入費用、維持管理等の問題もある。

【議員】 農林業がいつまでも元気で、またすばらしい農村の原風景であり続けるための取り組みをお願いしたい。

【農林課長】 いろいろな形で考え、現状を踏まえ総合的に議論していく。



最盛期を迎えたトマト収穫

史跡・文化財の保護と活用を

井上 則臣 議員



【議員】この町には、古代から近世まで、73箇所の貴重な、先人が残した史跡・文化財があるが、後世に伝え、敬う為に、教育、観光等の面で保護し活用できないかを尋ねる。

【町長】この町には、国・県・町指定の史跡・文化財がある。維持保存し後世に残す事は、重要な事だと考えている。ただ、この史跡・文化財には所有者がいる。維持保存に関しては所有者の意向がある。現在、南小国町文化財保存事業補助金交付要綱を制定し取り組んでいる。今後は、文化財保護委員や住民、所有者のご支援、ご協力を頂き進めて行きたい。

【議員】個人所有で僅かな補助では限界があると思う。歴史資料館や文化財保護事業を所有者や町民の支援と理解を頂き設立・保護を進めて欲しい。

また紙幣の肖像になる、北里柴三郎博士の幼少時の、橋本邸も復元保護が出来ないか？

【町長】町としては、何らかの取り組みをして行きたいが、所有者、地域の方がた、任意団体の理解と協力が欲しい。



志賀瀬の橋本邸
～復元保護ができないか～

議会だより表紙の絵を募集します!!

大好きな南小国の風景、南小国のステキなところなど
南小国に関する絵であればなんでも OK です。
ぜひあなたの絵で表紙を飾ってください。

締め切り

令和元年 1 1 月号・・・・令和元年 1 0 月 1 5 日（火）

令和 2 年 2 月号・・・・令和 2 年 1 月 1 4 日（火）

令和 2 年 5 月号・・・・令和 2 年 4 月 1 0 日（金）

応募作品の受付・お問合せは

南小国町役場 議会事務局 ☎0967（42）1111

皆さんの議会に対するお声、
議会だよりの感想なども合わせていただけますと幸いです。
よろしくお願いいたします。

発行 南小国町議会
編集 広報調査対策特別委員会

〒869-2492

熊本県阿蘇郡南小国町赤馬場 143 番地

☎ 0967-42-1111(代) FAX 0967-42-1122



4年間よろしくお願ひします。
～広報調査対策特別委員会～

平成31・令和元年 議長・議会日誌			
4月	21	町長・町議選挙	12～14 第2回定例会
5月	8	初議会（第3回臨時会）	21 県庁阿蘇会
	14	阿蘇市町村議長会総会	25 小国地区防犯協会総会
	18	南小国中学校体育祭	26 阿蘇農協通常総代会
	19	小国高校体育祭	26 南小国町人権教育推進協議会
	22	新人議員勉強会	27 南小国中学校後援会総会
	23	県町村議長会第1回理事会	30 南小国町奨学生選考委員会
	23	南小国町商工会総会	2 黒川ナイトマラソン実行委員会
	24	阿蘇地区保護司会総会	8 市町村議長・議運長・常任委員長研修
	24	国道57号整備促進期成会総会	9 阿蘇広域事務組合議員施設研修
	26	小国支援学校すぎのこ運動会	16 第4回臨時会
	28～29	町村正副議長研修会	16 議会広報調査対策特別委員会
	29	南小国町戦没者追悼式	17 議会全員協議会・議員勉強会
6月	3	阿蘇広域事務組合議会臨時会	18～19 全国森林環境税議員連盟総会
	3	防災会議	22 議会広報調査対策特別委員会
	4	県町村議長研修会	26 阿蘇市町村正副議長・委員長研修会
	4	小国公立病院議会	26 中九州・地域高規格道路推進期成会
	5	議会運営委員会	30 国道442号道路促進期成会
	5	議会広報調査対策特別委員会	1 県町村議長会第2回理事会
	6	議会全員協議会	4 阿蘇郡市人権同和教育研究大会
	6	観光協会総会	5 県町村議会正副議長研修会
	7	小国漁協理事会	



町議会議員の改選に伴い広報委員会も新体制となりました。同時に元号が平成から「令和」へと変わり、令和元年初めての議会だよりを発行いたしました。

新広報委員会では議会だよりを通して、町政や議会審議の内容などを分かりやすくちゃんと伝えることで、町民皆様と議会とを「繋ぐ」ことができるような役割となれるよう取り組んで参る所存です。

ご意見やアイデア、ご感想などもお寄せいただけますと幸いです。今後勉強しながら新しいことにも取り組みたいと思っておりますので、皆様どうぞよろしくお願いいたします。

（委員長 森永一美）

発行責任者

議長 平野 昭夫

広報調査対策特別委員会

委員長 森永 一美

副委員長 井上 則臣

委員 井野 和哉

委員 佐藤 毅